

みやぎ生協 ボラセンニュース

Vol.118 2015年7月1日(水)

発行：みやぎ生協ボランティアセンター

お問合せ：仙台市泉区八乙女 4-2-2 みやぎ生協生活文化部
(月～金 9:30～18:00、土日祝日休み)

TEL.022-218-3880 FAX.022-218-3663

E-mail : sn.mfukushinet@todock.jp

http://www.miyagi.coop/support/shien/volunteer/

仙台市や東松島市、亘理町、山元町などでは、仮設住宅からの引っ越しが増えており、ふれあい喫茶の場に「これまでありがとう」とご挨拶や差し入れをくださる方がいます。しかし一方で、「引っ越したけど隣近所の挨拶がなく、誰が住んでいるかわからない。仮設住宅と違って会話も少ない」などコミュニティづくりに悩む声が寄せられています。新たなコミュニティづくりへの支援が必要になってきています。

◆地域でのつながりづくりの大切さを学びました

6月5日、金香百合さん(HEAL ホリスティック教育実践研究所所長)を講師に迎え、学習会「地域でつながるボランティア～みんなできることがあります」を開催しました。参加者からは「今は家族や地域など、いろいろなものがバラバラになっている。それを『つなぐ』大切さがよくわかった」などの声が寄せられ、ボランティア活動の大切さを学ぶ機会となりました。



◆今後の活動について考えました

6月8日、あすと長町仮設住宅で活動しているサポーターの交流会を開催。小物づくりをみんなでわいわい行った後、今後の活動について交流しました。「仮設住宅から公営住宅に移ってもお茶会はやりたいね」「太子堂店の集会室で活動してはどうだろうか」など「活動を継続したい」との意見が多く出されました。

復興公営住宅での活動は、これからできていく自治会や地域などとの関係もあり、具体化はこれからです。9月に再度交流会を行って具体的に今後の活動を考えていきます。



◆くらしの変化に伴う、今の課題について要請しました



昨年度末に開催した、現状の困りごとなどを聞く「被災地域の生活再建に関する懇談会(生活再建懇)」で出された意見をまとめ、気仙沼市(5/28)、東松島市(5/29)へ要請書として提出しました。

その内容は、集団移転用地の地盤補強工事費用や、災害公営住宅駐車場基準の柔軟な運営、引越し費用の立て替え払いをなくす対応、仮設住宅の空室が増える中でも安心して生活できるための防犯対策など、現在の状況を表すものになっています。

◆共立社鶴岡生協の皆さんが来訪されました

6月22日、共立社鶴岡生協環境委員会の皆さん8名が、名取市の箱塚屋敷団地仮設住宅でのふれあい喫茶を訪問。鶴岡の郷土カルタや銘菓をお持ちくださり、参加者と交流しました。

午後には、岩沼市の千年希望の丘や、閑上の日和山などを視察。「直接お話を聞いて現実を見ることができ、改めて大変さがわかった。今後も継続した支援を考えたい」とのお話と、募金、手作り材料の着物地をお寄せくださいました。共立社鶴岡生協の皆さん、本当にありがとうございました。



◆参加者が中心となって活動しています



蛇田店のオープンカフェでは、参加者の運営参加がすすんでいます。皆さんが楽しみにしている体操の時間では、参加者から体操メニューの提案が盛んに出され、参加者が中心となって活動できました。また、別の週には、蛇田店登録のギターカルチャーの皆さんの演奏で歌を歌い、その音色に誘われ初めて参加した方もいて「こんな素敵なことを4年間もしてきて素晴らしい」との声をいただきました。

ボランティア活動予定の一覧は、ホームページに掲載していますのでご覧ください。

(みやぎ生協ホームページ→くらしのサポート→東日本大震災からの復旧・復興をめざして→ボランティアセンター)

みやぎ生協ボラセンニュース、次回の発行は8月1日の予定です。